（１６）　非結球レタス　　※非結球レタスのうち、リーフレタスは次の（１７）を参照

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 斑点細菌病 *Xanthomonas axonopodis* pv. *vitians*	1.育苗は風当たりの少ないところで行う。 2.水稲の作付けは本病の発生を抑制する。 3.トンネル被覆は遅れないようにする。 4.凍霜害を避ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●定植後から数回 1.カセット水和剤を冬どり（年明けどり）栽培に散布する際には、同一成分の散布間隔を１ヶ月以上あける。	定植時	P2	オリゼメート粒剤
		定植後から数回	M1	ドイツボルドーA
			M1	キノンドーフロアブル
			31･24	（混）カセット水和剤
			24･M1	（混）カスミンボルドー
			24･M1	（混）カッパーシン水和剤
	2.ドイツボルドーA、カスミンボルドー、カッパーシン水和剤は薬害を生ずることがあるので炭酸カルシウム剤を加用する。 3.ドイツボルドーA、カスミンボルドー、カッパーシン水和剤は幼苗期から生育初期は薬害を生じやすいので避ける。			
2 腐敗病 *Pseudomonas cichorii* *P. marginalis* pv. *marginalis* *P. viridiflava*	1.育苗は風当たりの少ないところで行う。 2.水稲の作付けは本病の発生を抑制する。 3.トンネル被覆は遅れないようにする。 4.凍霜害を避ける。 5.連作を避ける。 6.発病株は早期に除去する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●定植後から数回 1.スターナ水和剤、カセット水和剤を冬どり（年明けどり）栽培に散布する際には、同一成分の散布間隔を１ヶ月以上あける。 2.ドイツボルドーA、カスミンボルドー、カッパーシン水和剤の注意事項は斑点細菌病の項を参照。 3.本病害を対象にジーファインで防除を実施しているところでは、斑点細菌病の発生が少ない。 4.マスタピース水和剤は夏場は冷蔵庫保存（10℃以下）する。	定植時	P2	オリゼメート粒剤
		定植後から数回	31	スターナ水和剤
			U18	バリダシン液剤５
			M1	ドイツボルドーA
			M1	キノンドーフロアブル
			M1	ドキリンフロアブル
			31･24	（混）カセット水和剤
			24･M1	（混）カスミンボルドー
			24･M1	（混）カッパーシン水和剤
			NC･M1	（混）ジーファイン水和剤
3 軟腐病 *Pectobacterium carotovorum*	1.排水を良好にする。 2.水稲の作付けは本病の発生を抑制する。 3.ヨトウムシ、ナメクジ等の害虫を防除する。 4.発病株は早期に抜き取り、埋めるか、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.スターナ水和剤、カセット水和剤を冬どり（年明けどり）栽培に散布する際には、同一成分の散布間隔を１ヶ月以上あける。	定植後から数回	31	スターナ水和剤
			U18	バリダシン液剤５
			M1	キノンドーフロアブル
			M1	ドキリンフロアブル
			－(生)	（生）マスタピース水和剤
			31･24	（混）カセット水和剤
4 菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*	1.アブラナ科野菜との連作は避ける。 2.マルチを行う。 3.発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って処分する。 4.トンネル栽培では近紫外線除去フィルムを使用する。 5.夏期に湛水可能な圃地は、高温時に20日間以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発病前から	7	カンタスドライフロアブル
			7	アフェットフロアブル
			7	パレード２０フロアブル
			11	アミスター２０フロアブル
			11	スクレアフロアブル
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤
			7･M5	（混）ベジセイバー
	〈薬剤使用の特記事項〉 1.アミスター20フロアブルは幼苗期に散布すると薬害が生じるので、幼苗期には使用しない。 2.本病を対象にアフェットフロアブル、アミスター20フロアブルで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。 3.ベジセイバーは冬どり（年明けどり）栽培に使用する際には、育苗期までの使用に限る。			
5 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1.収穫残さは埋没する。 2.マルチを行う。 3.トンネル栽培では近紫外線除去フィルムを使用する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アミスター20フロアブルは菌核病の項を参照。 2.本病を対象にアフェットフロアブル、アミスター20フロアブルで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。 3.ベジセイバーは冬どり（年明けどり）栽培に使用する際には、育苗期までの使用に限る。	発病前から	7	カンタスドライフロアブル
			7	アフェットフロアブル
			7	パレード２０フロアブル
			7	ケンジャフロアブル
			11	アミスター２０フロアブル
			11	ファンタジスタ顆粒水和剤
			19	ジオゼット水和剤
			7･M5	（混）ベジセイバー

非結球レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
6 すそ枯病 *Rhizoctonia solani*	1.水稲の作付けは本病の発生を抑制する。 2.マルチを行い、土が株にかからないようにする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ダコニール１０００を冬どり（年明けどり）栽培に使用する際には、育苗期までの使用に限る。 2.ベジセイバーは冬どり（年明けどり）栽培に使用する際には、育苗期までの使用に限る。	育苗期	M5	ダコニール１０００
		発病前から	7 11 U18 7･M5	パレード２０フロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 バリダシン液剤５ （混）ベジセイバー
7 白絹病 *Sclerotium rolfsii*	1.連作を避ける。 2.被害茎葉は圃場外で処分する。 3.夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 4.輪作をする場合は、ナス科、ウリ科、アブラナ科、マメ科などを犯すので（多犯性）、作物選定に注意する。 5.発病圃場では籾殻は使用しない。	発病前から	7	アフェットフロアブル
8 べと病 *Bremia lactucae*	1.マルチ栽培を行う。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●発病初期 1.ダコニール１０００、ベジセイバーを冬どり（年明けどり）栽培に使用する際には、育苗期までの使用に限る。 2.アミスター20フロアブルは菌核病の項を参照。 3.本病を対象にアフェットフロアブル、アミスター20フロアブルで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。	育苗期	M5 7･M5	ダコニール１０００ （混）ベジセイバー
		定植当日	43･40	（混）ジャストフィットフロアブル
		発病初期	11 21 21 40 49･11 49･21 43･40	アミスター２０フロアブル ラインマンフロアブル ライメイフロアブル レーバスフロアブル （混）ゾーベックエンカンティアＳＥ （混）ゾーベックエンテクタＳＥ （混）ジャストフィットフロアブル
9 ビッグベイン病 （ＭＬＢＶＶ）	1.耐病性品種を作付けする。 2.発生圃場では、秋か春に収穫する作型を選ぶ。 3.圃場の排水を良好にする。 4.トラクター等の農機具や長靴等の洗浄・消毒を徹底する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●定植前 1.フロンサイドＳＣは軟腐病にも登録がある。	播種または定植前	29	フロンサイド粉剤
		定植前	29	フロンサイドＳＣ
10 アブラムシ類 （モザイク病 ＣＭＶ ＬＭＶ）	1.苗床では防虫ネット（１㎜目合以下）で被覆する。 2.ＬＭＶは種子伝染するので、種子は健全なものを使用する。 3.発病株は早期に処分する。 4.シルバーポリマルチ、シルバーストライプマルチをする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アドマイヤーフロアブルを冬どり（年明けどり）栽培に使用する場合には、収穫3週間前までに使用する。 2.本虫対象に防除を実施しているところでは、ヒメフタテンヨコバイの発生が少ない。 3.パダンＳＧ水溶剤は、冬どり（年明けどり）栽培には使用しない。	育苗期後半	4A 28･4A	ダントツ粒剤 （混）ミネクトデュオ粒剤
		育苗期後半～定植当日	28 28 28･4A 28･4A	ベリマークＳＣ ヨーバルフロアブル （混）ジュリボフロアブル （混）アベイル粒剤
		定植前日～定植当日	4A	モスピラン粒剤
		定植前日～定植時	4A 4A 28･4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 （混）キックオフ顆粒水和剤
		定植時	4A 4A	アルバリン粒剤 スタークル粒剤
		発生初期	3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 9B 9D 14 21A 23 28 29 23･28	アグロスリン乳剤 アグロスリン水和剤 マブリック水和剤２０ アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 トランスフォームフロアブル コルト顆粒水和剤 セフィーナDC パダンＳＧ水溶剤 ハチハチフロアブル モベントフロアブル ベネビアOD ウララDF （混）ヨーバルターボフロアブル

非結球レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
11 ヒメフタテンヨコバイ （萎黄病 *Phytoplasma*）	1.苗床では、周囲に防虫ネット（1㎜目合以下）の障壁を設ける。 2.発病株は早期に処分する。	育苗期後半～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
			28	ベリマークSC
			28･4A	（混）ジュリボフロアブル
12 ヨトウムシ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2.苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●若齢幼虫期 1.老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。	育苗期後半～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
			28	ヨーバルフロアブル
			28･4A	（混）ジュリボフロアブル
			28･4A	（混）アベイル粒剤
		若齢幼虫期	3A	アディオン乳剤
			4E	フィールドマストフロアブル
			5	スピノエース顆粒水和剤
			11A	トアローSC水和剤
			11A	バシレックス水和剤
			11A	ゼンターリ顆粒水和剤
			11A	エスマルクDF
			11A	フローバックDF
			11A	エコマスターBT
			11A	チューンアップ顆粒水和剤
			11A	サブリナフロアブル
			15	カスケード乳剤
			22A	トルネードエースDF
			22A	ファイントリムDF
			28	フェニックス顆粒水和剤
			28	プレバソンフロアブル5
			28	ヨーバルフロアブル
			28	ベネビアOD
			30	ブロフレアSC
			5･18	（混）ファルコンエースフロアブル
			4E･28	（混）フェニックスマストフロアブル
			23･28	（混）ヨーバルターボフロアブル
13 ハスモンヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2.苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●発生初期(若齢幼虫期) 1.老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。	育苗期後半～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
			28	ベリマークSC
			28	ヨーバルフロアブル
			28･4A	（混）ジュリボフロアブル
		定植前日～定植時	28･4A	（混）キックオフ顆粒水和剤
		発生初期（若齢幼虫期）	4E	フィールドマストフロアブル
			5	ディアナSC
			6	アファーム乳剤
			11A	バシレックス水和剤
			11A	ゼンターリ顆粒水和剤
			11A	デルフィン顆粒水和剤
			11A	フローバックDF
			11A	エコマスターBT
			11A	サブリナフロアブル
			15	ノーモルト乳剤
			15	カスケード乳剤
			18	ファルコンフロアブル
			22A	トルネードエースDF
			22A	ファイントリムDF
			22B	アクセルフロアブル
			28	フェニックス顆粒水和剤
			28	プレバソンフロアブル5
			28	ヨーバルフロアブル
			28	ベネビアOD
			30	ブロフレアSC
			23･28	（混）ヨーバルターボフロアブル

非結球レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
14 シロイチモジヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2.苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（４㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●発生初期(若齢幼虫期) 1.老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。 2.薬剤感受性の低下が見られる地域があるので注意する。	発生初期 (若齢幼虫期)	22A 28 28 30	トルネードエースDF ベネビアOD ベリマークSC ブロフレアSC
15 オオタバコガ	1.幼虫は見つけしだい捕殺する。 2.苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（４㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●発生初期(若齢幼虫期) 1.老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。	育苗期後半 ～定植当日	28 28 28 28･4A	プレバソンフロアブル5 ベリマークSC ヨーバルフロアブル (混)ジュリボフロアブル
		定植前日 ～定植時	28･4A	(混)キックオフ顆粒水和剤
		発生初期 (若齢幼虫期)	5 5 6 6 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 15 22A 22A 22B 28 28 28 28 30 5･18 4E･28 23･28	スピノエース顆粒水和剤 ディアナSC アファーム乳剤 アニキ乳剤 トアローフロアブルCT ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 エスマルクDF フローバックDF エコマスターBT チューンアップ顆粒水和剤 サブリナフロアブル ジャックポット顆粒水和剤 カスケード乳剤 トルネードエースDF ファイントリムDF アクセルフロアブル フェニックス顆粒水和剤 フェニックスフロアブル プレバソンフロアブル5 ヨーバルフロアブル ベネビアOD ブロフレアSC (混)ファルコンエースフロアブル (混)フェニックスマストフロアブル (混)ヨーバルターボフロアブル
16 ネキリムシ類	1.被害株周辺を軽く掘り、幼虫を見つけしだい捕殺する。 2.作付け前の圃場の除草処理を徹底する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.キックオフ顆粒水和剤はカブラヤガに登録がある。	育苗期後半 ～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
		定植前日～ 定植時	28･4A	(混)キックオフ顆粒水和剤
		植付時	1B 1B	カルホス粉剤 カルホス微粒剤F
		発生初期	22B	アクセルベイト

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

非結球レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
17 ナモグリバエ	1.圃場内及び周辺の雑草処理を徹底する。 2.苗床では、周囲に防虫ネット（１㎜目合以下）の障壁を設ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●定植前日～定植当日 1.モスピラン粒剤はオオタバコガにも登録がある。 ●発生初期 1.パダンＳＧ水溶剤、リーフガード顆粒水和剤は冬どり（年明けどり）栽培には使用しない。 2.本虫対象にパダンＳＧ水溶剤で防除を実施しているところでは、アブラムシ類の発生が少ない。	播種前	4A	アルバリン粒剤
			4A	スタークル粒剤
		育苗期後半	4A	アルバリン粒剤
			4A	スタークル粒剤
		育苗期後半～定植当日	28	プレバソンフロアブル５
			28	ベリマークＳＣ
			28	ヨーバルフロアブル
			28･4A	（混）ジュリボフロアブル
			28･4A	（混）アベイル粒剤
		定植前日～定植当日	4A	モスピラン粒剤
		定植前日～定植時	4A	アルバリン顆粒水溶剤
			4A	スタークル顆粒水溶剤
			28･4A	（混）キックオフ顆粒水和剤
		定植時	4A	アルバリン粒剤
			4A	スタークル粒剤
		定植前まで	5	スピノエース顆粒水和剤
		発生初期	4A	モスピラン顆粒水溶剤
			4A	ダントツ水溶剤
			4E	フィールドマストフロアブル
			5	ディアナＳＣ
			6	アファーム乳剤
			14	パダンＳＧ水溶剤
			14	リーフガード顆粒水和剤
			21A	ハチハチフロアブル
			28	プレバソンフロアブル５
			28	ヨーバルフロアブル
			28	ベネビアＯＤ
			4E･28	(混)フェニックスマストフロアブル
			23･28	(混)ヨーバルターボフロアブル
18 ナメクジ類	1.除草や残さ処理などにより、多湿で有機物の多いほ場環境を避ける。 2.パダンＳＧ水溶剤、リーフガード顆粒水和剤は冬どり（年明けどり）栽培には使用しない。	発生初期	14	パダンＳＧ水溶剤
			14	リーフガード顆粒水和剤
			－	マイキラーＬ